

通信業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	18~19	他の社員が集荷した着物をパレットへ積み込み作業を応援する為、L字型に折り畳んである鉄Ⅲ型赤パレットを発着台に運び、パレットを展開するために発着台で、中腰の姿勢で当該パレットを組み上げていた際、中板のストッパーがロックされていなかったため中板が落下し、右眼下瞼付近に接触し、右眼下瞼を裂傷した。	36	500 ~ 999
4	14~15	1階発着口の8番線から10番線へ、運送便トラックに積載する銀色パレットを左手でけん引していた時、9番線で運送便トラックに積載しようと搬出作業をしていた運送便のドライバーが赤色パレット2台を同時に前方へ押し移動した結果、動線が交差してしまったため、左腕から肘にかけて赤色パレットの右前方と衝突した。当初は軽度の打撲のみと推測し業務を継続したが、痛みが治まらず、左肘を骨折していたことが判明した。	46	500 ~ 999
4	12~13	屋上駐車場で販売を終え、乗って来た軽四輪車で駐車場から出ようとした時、軽四輪車で駐車場内を直進中、丁字路にさしかかった時、右側から右折して交差点に進入しようとした相手側車両が、一時停止せずに当社車両に接触した。（相手側運転手によると右折時に右側しか見ていなかったとのこと）	46	500 ~ 999
5	7~8	窓口において、被災者は不在通知書を持参のお客様対応のため、跳ね上げ式カウンターの左横に置いていたバーコードリーダーを右手で取ろうとした。その時、跳ね上げ式カウンターは開いており、入口自動ドアを開けた社員がお客様のために跳ね上げ式カウンターを閉めようとした。その際、バーコードリーダーを取ろうとした被災者の右手薬指先にカウンターがぶつかり負傷した。	59	100 ~ 299
		宴会調理メインキッチンにて、ホテル内各レストランに用意する味噌汁、コーン		

7	15~16	スープ、冷やしそばなどを準備していた際、ステンレスの寸胴鍋に20?ほどスープ類が入った20kg前後になるもの、ステンレスの寸胴鍋に10?ほどスープ類が入った15kg前後になるもの、40袋分（1袋230g入り乾麺）のそばを大鍋で茹でる際のざるなどを床から約1mの作業台や床から約1.2mの高さの台車に複数回持ち上げたり運んだりすることで背中を痛めた。当日は傷みが続いていたが終業時間まで就労した。翌日は朝は就労したが痛みがあった。	31	~ 9999	1000
7	19~20	1t車で集荷を終え帰局し倉庫前の駐車場で、物品を出したり清掃をしたりしていた。助手席のドアを開け作業し後方へ行こうとし開けたドアに背を向けて立っていたところ、手伝いをしていた社員が気がつかずドアを閉め頭部に当たった。	42	~ 999	500
9	16~ 17	郵便局1F輸送部作業場打鍵レーンにおいて、レーンにひっかかり、手を伸ばして移動させた、その際に後方から流れてくるのに気付かず、左脇あたりに接触し負傷した。	61	~ 9999	1000
10	14~ 15	バイクを止め、配達後バイクに戻ってきた時にバイクが倒れてきたため、支えようとしたが支えきれず下敷きになり負傷した。	40	~ 299	100

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html